

ルフレンド社. 2007.

- 49) 澤田俊夫: リレーコラム・医療地図の描き方  
新病院開院と地域がん診療連携拠点病院と  
しての役割. 月刊 保検診療. 医学通信社.  
62(5):78-79, 2007.

## 2. 学会発表

2009 年度

- 1) Koinuma N: Does the cancer screening reduce the cost of cancer? 12<sup>th</sup> World Congress on Public Health. Istanbul, Turkey. 2009. 4.
- 2) 濃沼信夫: がん治療の医療経済. 薬剤経済学研究会. 東京. 2009. 5.
- 3) 濃沼信夫: 胃癌の医療経済. 第 14 回 JAPANGAST Study Group. 札幌. 2009. 7.
- 4) Koinuma N: Significance of postoperative follow-up for colorectal cancer from economic viewpoint. Joint 15<sup>th</sup> European Cancer Organization and 34<sup>th</sup> European Society for Medical Oncology Multidisciplinary Congress, Berlin, Germany, 2009. 9.
- 5) Koinuma N, Ito M, Ogata T: Economic motivation for behavior modification to undergo the cancer screening. 68<sup>th</sup> Annual Meeting of Japan Cancer Association. Yokohama, 2009. 10.
- 6) 濃沼信夫: 分子標的薬の医療経済. 第 47 回日本癌治療学会 特別企画シンポジウム. 横浜, 2009. 10.
- 7) Koinuma N, Ito M: Genetic screening of HNPCC. Frontiers in cancer prevention research, American Association for Cancer research, 2009. 12.
- 8) 岡本直幸、山内桂子、杉山恵子、浅野まり子、萩原素子、野中恵美、武宮省治: がん電話相談の意義と相談内容について—神奈川県がん臨床研究・情報機構のころみ—. 第 17 回日本ホスピス・在宅ケア研究会. 高知. 2009. 7.
- 9) Yamada A, Shimizu D, Chiba A, Miyagi Y, Yanagida Y, Saruki N, Mitsushima T, Yamakado M, Imaizumi A, Yamamoto H, Okamoto N: A novel screening marker composed of plasma free amino acid concentrations “Amino Index” for breast cancer. 第 68 回日本癌学会. 横浜. 2009. 10.
- 10) Okamoto N: Analysis of the relationship between socioeconomic indicator and cancer incidence by regional mesh statistics. 第 68 回日本癌学会. 横浜. 2009. 10.
- 11) Miyagi Y, Okamoto N, Imaizumi A, Ando T, Yamamoto H, Yamakado M, Tsuchiya E, Kishida K, Miura T: A novel screening marker composed of plasma free amino acid concentrations (Amino Index) for prostate cancer. 第 68 回日本癌学会. 横浜. 2009. 10.
- 12) 吉見逸郎、原田 久、立石泰子、岡本直幸: 受動喫煙と乳幼児のニコチン検査. 第 68 回日本公衆衛生学会. 奈良. 2009. 10.
- 13) Esaki T, Satoh T, Ura T, Tsujinaka T, Sasaki Y, Yamazaki K, Yamada Y, Ishizuka N, Hyodo I, Sakata Y: A prospective PGx and PK/PD dose-finding study of irinotecan based on UGT1A1\*6 and \*28 genotyping (UGT0601). 2009 ASCO Annual Meeting. Orland, FL. 2009. 6.
- 14) 江崎 泰斗、佐藤 太郎、宇良 敬、辻仲 利政、佐々木 康綱、山崎 健太郎、山田 康秀、石塚 直樹、兵頭 一之介、坂田 優: UGT1A1 遺伝子多型群別の CPT-11 用量設定試験 (UGT0601 試験). 第 47 回日本癌治療学会学術集会. 横浜. 2009. 10.
- 15) 江崎 泰斗、高島 淳生、山崎 健太郎、森脇 俊和、三宅 泰裕、勝又 健次、山下 啓史、福永 睦、加藤 誠之、文田 壮一、兵頭一之介: 大腸癌既治療例の FOLFIRI/FOLFOX とベバシズマブ併用に関する多施設調査研究: 中間報告. 第 47 回日本癌治療学会学術集会. 横浜. 2009. 10.
- 16) Kimura Y, Kiyota H, Nakada D, Masaki T, Kusaka M, Egawa S: A novel androgen-

- dependent prostate cancer xenograft model derived from skin metastasis of Japanese patient. 24th Annual EAU Congress. ストックホルム. 2009. 3.
- 17) Yamamoto T, Hayashi N, Miki K, Egawa S, et al: Relationship between biopsy maximum cancer length and surgical margin in patients with prostate cancer of one positive core. The World Congress on Controversies in Urology. リスボン. 2009. 2.
- 18) 木村高弘、清田 浩、三木 淳、鎌田裕子、下村達也、車 英俊、佐々木 裕、中田大介、正木恒男、日下雅美、颯川 晋:日本人ホルモン抵抗性前立腺癌患者皮膚転移より樹立した新規前立腺癌細胞株. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 19) 三木 淳、佐々木 裕、木村高弘、稲葉裕之、山口泰広、畠 憲一、三木健太、颯川 晋:当施設における前立腺癌リスク分類の動向. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 20) 佐々木 裕、三木 淳、木村高弘、畠 憲一、三木健太、颯川 晋:腹腔鏡下前立腺全摘除術における早期尿禁制回復の検討. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 21) 山本順啓、畠 憲一、山口泰広、木戸雅人、中野雅貴、鷹橋浩幸、佐々木 裕、三木 淳、木村高弘、古田 昭、三木健太、古田 希、颯川 晋:生検にて1針のみより癌を認めた症例における全摘標本の病理学的検討. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 22) 鎌田裕子、車 英俊、鷹橋浩幸、木村高弘、下村達也、佐々木 裕、松本和将、西森孝典、朝長 毅、野村丈夫、山田順子、颯川 晋: Periplakin、Envoplakin の上部尿路癌、尿細胞診における発現の検討. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 23) 木戸雅人、三木健太、青木 学、颯川 晋: I-125 密封小線源永久挿入治療 202 例の成績. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 24) 石井 元、佐々木 裕、三木 淳、坂東重浩、畠 憲一、木村高弘、三木健太、颯川 晋: ハイリスク前立腺癌に対する前立腺摘除術における病理組織学的検討. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 25) 都筑俊介、三木 淳、佐々木 裕、下村達也、古田 希、池本 庸、颯川 晋:膀胱癌に対する根治的膀胱全摘術における臨床的検討. 第 97 回日本泌尿器科学総会. 岡山. 2009. 4.
- 26) 高橋正憲、丸山紀史、石橋啓如、岡部真一郎、吉川正治、横須賀收:肝細胞癌の分化度診断におけるソナゾイド造影超音波の有用性. 第 95 回日本消化器病学会総会. 札幌. 2009. 5.
- 27) 大岡美彦、金井文彦、小笠原定久、篠崎勇介、岡部真一郎、吉川正治、横須賀收:肝原発悪性腫瘍に対する EOB-MRI の有用性. 第 95 回日本消化器病学会総会. 札幌. 2009. 5.
- 28) 横須賀收:C型肝炎ウイルスによる肝発癌における Androgen Receptor シグナリングの関与. 第 27 回犬山シンポジウム. 犬山. 2009. 8.
- 29) 杉山晴俊、露口利夫、横須賀收:胆道癌術前進展度診断における経口胆道鏡の有用性. 第 45 回日本胆道学会学術集会. 千葉. 2009. 9.
- 30) 杉山晴俊、露口利夫、横須賀收:当科における原発性硬化性胆管炎と胆管癌合併例の検討. 第 45 回日本胆道学会学術集会. 千葉. 2009. 9.
- 31) 高橋正憲、丸山紀史、横須賀收:早期肝癌の診断ストラテジー:ソナゾイド造影超音波による分化度の推定. 第 51 回日本消化器病学会大会. 京都. 2009. 10.
- 32) 篠崎勇介、吉川正治、横須賀收:DPC 時代の肝動脈塞栓併用ラジオ波熱焼灼療法の意義. 第 51 回日本消化器病学会大会. 京都. 2009. 10.
- 33) 多田素久、横須賀收、小俣政男:肝発癌、進展における Hedgehog signal 抑制系因子の関与. 第 13 回日本肝臓学会大会. 京都. 2009. 10.
- 34) 藤本竜也、富澤 稔、横須賀收:Frizzled-9 の抑制は肝細胞癌・肝芽腫に対する分子標的

- 治療に有用である。第 51 回日本消化器病学会大会。京都。2009. 10.
- 35) 岡部真一郎、吉川正治、横須賀収：肝癌動注化学療法の治療効果における血管新生因子(VEGF)とその受容体 KDR、flt-1 の遺伝子発現の意義。第 51 回日本消化器病学会大会。京都。2009. 10.
- 36) 樋口哲郎、小林宏寿、石川敏昭、松山貴俊、青柳治彦、岡崎聡、石黒めぐみ、飯田聡、植竹宏之、安野正道、榎本雅之、杉原健一：Stage II 大腸癌における再発危険因子の検討。第 109 回日本外科学会。ポスター。福岡。2009. 4.
- 37) 小林宏寿、望月英隆、森田隆幸、固武健二郎、寺本龍生、亀岡信悟、高橋慶一、斉藤幸夫、大矢雅敏、長谷和生、前田耕太郎、平井孝、亀山雅男、白水和雄、杉原健一：SM 大腸癌における再発の特徴と術後フォローアップ。第 109 回日本外科学会。ワークショップ。福岡。2009. 4.
- 38) 石黒めぐみ、加藤俊介、清水紀香、小林宏寿、石川敏昭、飯田聡、植竹宏之、樋口哲郎、安野正道、榎本雅之、杉原健一：郵送式アンケートによる直腸癌術後の排便機能および QOL に関するまえむき縦断研究。第 109 回日本外科学会。サージカルフォーラム。福岡。2009. 4.
- 39) 杉原健一：転移性肝癌の治療戦略。第 21 回日本肝胆膵外科学会。シンポジウム(総括)。名古屋。2009. 6.
- 40) 塚本俊輔、小林宏寿、石黒めぐみ、石川敏昭、飯田聡、植竹宏之、安野正道、樋口哲郎、榎本雅之、杉原健一：高齢者の進行大腸癌に対する 3 群リンパ節郭清の有用性の検討。第 64 回日本消化器外科学会総会。要望演題 5-3。大阪。2009. 7.
- 41) 岡崎聡、樋口哲郎、小林宏寿、石川敏昭、石黒めぐみ、飯田聡、植竹宏之、安野正道、榎本雅之、杉原健一：大腸癌肺転移切除術後の予後因子の検討。第 64 回日本消化器外科学会総会。一般演題(ポスター)。大阪。2009. 7.
- 42) 植竹宏之、石川敏昭、杉原健一：大腸癌化学療法～世界との乖離をどこまで埋める？ 第 47 回日本癌治療学会学術集会。シンポジウム 1。横浜。2009. 10.
- 43) 石川敏昭、石黒めぐみ、小林宏寿、飯田聡、樋口哲郎、榎本雅之、安野正道、杉原健一：大腸癌に対する bevacizumab 併用化学療法の有用性と新しい肝転移治療戦略の検討。第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会。シンポジウム 2。福岡。2009. 11.
- 44) 小林宏寿、榎本雅之、樋口哲郎、安野正道、飯田聡、石川敏昭、石黒めぐみ、塚本俊輔、岡崎聡、菊池章史、杉原健一：SM 癌に対する内視鏡的治療適応拡大の可能性と腹腔鏡手術の安全性に関する検討。第 64 回日本大腸肛門病学会学術集会。シンポジウム 3。福岡。2009. 11.
- 45) 大迫智、堀井理絵、井手佳美、道本薫、松沼亮一、増村京子、木村聖美、岩瀬拓土、秋山太：乳癌センチネルリンパ節転移診断への OSNA 法導入。第 47 回日本癌治療学会学術集会。横浜。2009. 10.
- 46) 伊藤良則、三木義男、秋山太、松浦正明、長崎光一、岩瀬拓土、畠清彦：乳がん治療の個別化 病態に応じた治療法の最近の進歩 遺伝子診断による個別化乳癌術前化学療法(Personalized breast cancer therapy: recent advances in breast cancer therapy tailored to individual clinical conditions Individualized primary chemotherapy by genetic diagnosis for breast cancer)。第 68 回日本癌学会。横浜。2009. 10.
- 47) 武藤信子、岩瀬拓土、木村聖美、森園英智、飯島耕太郎、宮城由美、西村誠一郎、多田敬一郎、蒔田益次郎、秋山太：多発浸潤(Multifocal)を認める乳癌の予後。第 17 回日本乳がん学会。東京。2009. 7.
- 48) 伊藤宏之、中山治彦、渡邊創、石川善啓、菅泰博、坪井正博、近藤哲郎、齋藤春洋、尾下文浩、山田耕三、本田健、村上修司、野田和正：高齢者非小細胞肺癌における手術適応と

- 成績. 第 49 回日本呼吸器学会学術講演会. 東京. 2009. 11.
- 49) 中山優子、野中哲生、斎藤春洋、横瀬智之、備前麻衣子、近藤哲郎、尾下文浩、山田耕三、野田和正、菅泰博、伊藤宏之、坪井正博、中山治彦、長谷川千花子、亀田陽一：肺大細胞神経内分泌癌(LCNEC)に対する放射線治療効果の検討(会議録). 第 47 回日本癌治療学会学術集会. 横浜. 2009. 10.
- 50) 久保昭仁、吉岡弘鎮、武田晃司、海老規之、菅原俊一、片上信之、谷尾吉郎、松井薫、坂英雄、坪井正博、岩本康男、杉浦誠治、岡本勇、中川和彦：未治療進行非小細胞肺癌に対するS-1とイリノテカン併用療法の多施設共同第 II 相臨床試験(WJTOG 3505). 第 49 回日本呼吸器学会学術講演会. 東京. 2009. 6.
- 51) 竹島信宏、松村真紀、太田剛志、川又靖貴、藤原 潔、杉山裕子、宇津木久仁子、瀧澤憲：子宮頸癌 IB2-IIB 期を対象とした術前化学療法の効果. 日本婦人科腫瘍学会 47 回学術集会ワークショップ. 東京. 2009. 11.
- 52) 森 甚一、秋山秀樹：臍帯血移植後に再発した Imatinib 抵抗性慢性骨髄性白血病の急性転化に対する Dasatinib と化学療法の併用療法. 第 71 回日本血液学会学術集会. 京都. 2009. 10.
- 53) 若林志穂子、秋山秀樹：非血縁間骨髄移植後の EB ウイルス関連リンパ増殖性疾患に Rituximab が奏功した一例. 第 71 回日本血液学会学術集会. 京都. 2009. 10.
- 54) 永田安伸、秋山秀樹：Dasatinib 投与患者における Large granular lymphocytosis の臨床学的特徴. 第 71 回日本血液学会学術集会. 京都. 2009. 10.
- 55) 鈴木貴夫：がん薬物療法時の制吐剤使用の最適化について. 日本癌治療学会総会. 横浜. 2009. 10.
- 56) 勝俣範之：再発卵巣がんの治療. 第 47 回日本癌治療学会学術集会. 横浜. 2009. 10.
- 57) 小野麻紀子、田村研治、清水千佳子、小泉史明、勝俣範之、安藤正志、河野勤、米盛勲、西尾和人、藤原康弘：HER2 陽性の転移性乳がん患者におけるトラスツズマブの治療効果と FUT8 の酵素活性・SNPs の相関について (Analysis for SNPs and activities of FUT8 and clinical efficacy of trastuzumab in patients with HER2+ breast cancer). 第 68 回日本癌学会. 横浜. 2009. 10.
- 58) 谷岡真樹、清水千佳子、小野真紀子、温泉川真由、平田泰三、米盛勲、河野勤、田村研治、安藤正志、勝俣範之、藤原康弘：術前化学療法(NC)後病理学的完全奏効(pCR)を得た乳がん患者の再発予測因子. 第 17 回日本乳がん学会. 東京. 2009. 7.
- 2008 年度
- 1) Koinuma N, Ogata T, Ito M: Economic burden and associated factors with the feeling of burden of cancer patients. Society for Medical Decision Making Europe. Engelberg, Switzerland. 2008. 6.
- 2) Koinuma N: Economic effect of the postoperative follow-up for colorectal cancer. 7th European Conference on Health Economics. Roma, Italy. 2008. 7.
- 3) 濃沼信夫：医療経済からみた大腸癌術後フォローアップの意義. 第 3 回大腸癌術後フォローアップ研究会. 東京. 2008. 7.
- 4) Koinuma N, Ogata T, Ito M, Kaneko S : Estimation of national cost of cancer in Japan. International Union Against Cancer, World Cancer Congress. Geneva, Switzerland. 2008. 8.
- 5) Koinuma N, Ito M, Ogata T, Monma Y: Economic significance of the post-operative follow-up for colorectal cancer. 67<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. Nagoya. 2008. 10.
- 6) 濃沼信夫、菱川良夫、伊藤道哉、尾形倫明、三澤仁平、金子さゆり、門馬靖武：放射線治療における患者自己負担の実態と経済的負担感を増加させる要因について. 第 46 回日本癌治療学会. シンポジウム. 名古屋. 2008. 10.
- 7) 濃沼信夫：がんの医療経済. 第 16 回日本がん検診・診断学会. 特別講演. 東京. 2008. 9.

- 8) 濃沼信夫、尾形倫明：わが国の cost of cancer. 第 46 回日本医療・病院管理学会. 静岡. 2008. 11.
- 9) 濃沼信夫：大腸癌診療で知っておきたい医療経済. 第 70 回大腸癌研究会. 東京. 2009. 1.
- 10) Okamoto N, Miyagi Y, Chiba A, Shiozawa M, Akaike M, Imaizumi A, Ando T & Tochikub O: Multivariate discrimination function composed with amino acid profiles as a novel diagnostic marker for breast and colon cancer. The 5th International Conference Cancer Prevention. St.Gallen, Switzerland. 2008. 3.
- 11) 岡本直幸：地域診断における新たな健康指標の創成. 第 75 回日本衛生学会（シンポジウム）. 熊本. 2008. 3.
- 12) Miura T, Okamoto N, Imaizumi A, Ando T, Yamamoto H, Yamakado M and Miyagi Y: Probability of plasma amino acid concentration and its profile as a novel diagnostic marker for prostate cancer. 第 67 回日本癌学会. 名古屋. 2008. 10.
- 13) Okamoto N, Miyagi Y, Chiba A, Akaike M, Imaizumi A, Ando T, Takahashi N, Yamamoto H, Mikami H and Yamakado M: Multivariate functions composed with amino acid profiles as a novel diagnostic marker for breast and colon cancer. 第 67 回日本癌学会. 名古屋. 2008. 10.
- 14) Mikami H, Okamoto N: Risk assessment of lung cancer due to air pollution based on geographical epidemiology and cancer registry data. 第 67 回日本癌学会. 名古屋. 2008. 10.
- 15) 京極 浩、岡本直幸：がん検診受診率の向上を目指した地域の健康運動指導者への介入について. 第 67 回日本公衆衛生学会. 福岡. 2008. 10.
- 16) 立石泰子、岡本直幸、ほか：地域での禁煙活動における保健所の役割—保健所の喫煙対策担当者の連携強化策—. 第 67 回日本公衆衛生学会. 福岡. 2008. 10.
- 17) Sameshima S, Tomozawa S, Kojima M, Koketsu S, Motegi K, Horikoshi H, Okada T, Kon Y, Sawada T: 5-Fluorouracil-related Gene Expression in Primary Sites and Hepatic Metastases of Colorectal Carcinomas. San Diego. CA. USA. 2008. 5.
- 18) 青木大輔：知っておきたい子宮頸部細胞診の報告様式—ベセスダシステム 2001—. 第 60 回日本産科婦人科学会学術講演会. 横浜. 2008. 4.
- 19) 青木大輔：子宮がん検診における細胞診結果記載方式と精度管理. 第 25 回日本臨床細胞学会新潟県支部学術集会. 新潟市. 2008. 5.
- 20) 富永英一郎、進 伸幸、長島義男、照井仁美、平沢 晃、阪埜浩司、青木大輔：子宮体癌における腹腔細胞診の意義. 第 49 回日本臨床細胞学会（春期大会）. 東京. 2008. 6.
- 21) 青木大輔：子宮頸がん検診の精度管理のあり方. 静岡中部産婦人科学術講演会. 静岡市. 2008. 7.
- 22) 青木大輔：がん検診において求められる精度管理—子宮頸がん検診を中心として—. 第 47 回日本臨床細胞学会秋期大会. 東京. 2008. 11.
- 23) 木村高弘、車 英俊、鎌田裕子、鷹橋浩幸、下村達也、山田裕紀、佐々木 裕、三木健太、清田 浩、山崎春城、颯川 晋：新規前立腺癌関連蛋白 T T902 の前立腺癌における発現および機能の解析. 第 96 回日本泌尿器科学会総会. 横浜. 2008. 4.
- 24) 長谷川雄一、車 英俊、鎌田裕子、木村高弘、鷹橋浩幸、古田 希、池本 庸、三木健太、颯川 晋：Tissue Microarray を用いた新規癌マーカータンパクの臨床的有用性. 第 96 回日本泌尿器科学会総会. 横浜. 2008. 4.
- 25) 三木 淳、古里文吾、木村高弘、車 英俊、John S Rhim、颯川 晋：前立腺由来テロラーゼ導入不死化細胞株、および前立腺癌手術検体における幹細胞マーカー CD133、CX CR4 の同定. 第 96 回日本泌尿器科学会総会. 横浜. 2008. 4.
- 26) Sasaki H, Sanuki K, Miki J, Kimura T, Miki

- K, Egawa S: Laparoscopic radical prostatectomy. Device of prostate apex incision to improve the surgical margin status of distal urethra. AUA annual meeting. オーストラリア. 2008. 5.
- 27) 三木 淳、佐々木 裕、木村高弘、讃岐邦太郎、顚川 晋: 腹腔鏡下前立腺全摘除術における膀胱頸部温存手技、第 21 回日本内視鏡学会総会. 横浜. 2008. 9.
- 28) 木村高弘、車 英俊、鎌田裕子、鷹橋浩幸、下村達也、佐々木 裕、三木 淳、清田 浩、顚川 晋: 新規前立腺癌バイオマーカー Staphylococcal nuclease domain-containing protein 1(SND1). 第 67 回日本癌学会総会. 名古屋. 2008. 10.
- 2007 年度
- 1) 濃沼信夫: 前立腺癌治療の医療経済. 第 95 回日本泌尿器科学会総会 (ワークショップ基調講演). 神戸. 2007. 4.
- 2) Koinuma N and Ito M: Economic evaluation of anti-smoking measures in cancer control strategy using a system model. 6th World Congress, International Health Economics Association. Copenhagen, Denmark. 2007. 7.
- 3) Koinuma N, Ito M and Ogata T: The estimated national cost of cancer in Japan. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association. Yokohama. 2007. 10.
- 4) 濃沼信夫、伊藤道哉、門馬靖武: 大腸がん術後フォローアップの経済効果に関する研究. 第 45 回日本病院管理学会. 横浜. 2007. 10.
- 5) 濃沼信夫、伊藤道哉、尾形倫明、三澤仁平、広中秀一、岡本直幸: 実態調査にみるがん化学療法における患者自己負担の課題. 日本癌治療学会 (パネルディスカッション). 京都. 2007. 10.
- 6) 濃沼信夫: 婦人科癌治療における医療経済について(ランチョンセミナー). 第 43 回日本婦人科腫瘍学会. 米子. 2007. 11.
- 7) 岡本直幸、三上春夫: メッシュ法によるがん罹患要因の解析. 第 17 回日本疫学会. 広島. 2007. 1.
- 8) Okamoto N, Chiba A, Miyagi Y, Mikami H, Imaizumi A, Yamakado M, Tochikubo O: Alternative method for the diagnosis of early breast cancer using plasma free amino acid profiles. The 10th International Conference Primary Therapy of Early Breast Cancer, St. Gallen, Switzerland. 2007. 3
- 9) 岡本直幸、清水奈緒美、山下浩介、渡邊眞理: 「がん相談支援センター」のあり方とがん患者支援. 第 15 回日本ホスピス・在宅ケア研究会. 高山. 2007. 6.
- 10) 岡本直幸、田中利彦: 肺がんの CT 検診に関する有効性の評価. 第 30 回日本がん疫学研究会. 東京. 2007. 7.
- 11) 三上春夫、高山喜美子、稲田潤子、岡本直幸: 大気汚染と肺がん罹患のリスクに関する地理疫学的研究. 第 16 回地域がん登録全国協議会総会研究会. 広島. 2007. 9.
- 12) Okamoto N, Chiba A, Mikami H, Ando T, Miyagi Y: Early Detection of Breast Cancer using Plasma Free Amino Acid Profiles. 第 66 回日本癌学会. 横浜. 2007. 9.
- 13) Okamoto N & Tanaka T: A follow-up study of the cohort population who had a checkup in lung cancer CT screening program. The 29th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries. Ljubljana, Slovenia. 2007. 9.
- 14) Saruki N & Okamoto N: Analysis of hospital-based cancer registry data collected at cancer treatment centers in Japan. The 29th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries. Ljubljana, Slovenia. 2007. 9.
- 15) Marugame T, Matsuda T, Ajiki W, Sobue T & Okamoto N: Midterm survey of the current activities of population-based cancer registries in Japan: Part 1. The 29th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries. Ljubljana, Slovenia. 2007. 9.
- 16) Matsuda T, Marugame T, Ajiki W, Sobue T &

- Okamoto N: Midterm survey of the current activities of population-based cancer registries in Japan: Part 2. The 29th Annual Meeting of the International Association of Cancer Registries. Ljubljana, Slovenia. 2007. 9.
- 17) 平林由香、江森佳子、岡本直幸、西本 寛、祖父江友孝、他：院内がん登録実務者研修会プログラム構築に関する研究、第 33 回日本診療情報管理学会。京都。2007. 9.
- 18) 平松さやか、波多野房枝、岡本直幸、他：精神保健福祉相談における近隣苦情の現状分析と対応方法の考察。第 66 回日本公衆衛生学会総会。松山。2007. 11.
- 19) 松田智大、丸亀知美、味木和喜子、祖父江友孝、岡本直幸：地域がん登録の体制整備—全国実施状況調査第 1 報。第 66 回日本公衆衛生学会総会。松山。2007. 11.
- 20) 丸亀知美、松田智大、味木和喜子、祖父江友孝、岡本直幸：地域がん登録の体制整備—全国実施状況調査第 2 報。第 66 回日本公衆衛生学会総会。松山。2007. 11.
- 21) Takehara M, Ohsumi S, Takei H, Shimozuma K, Suemasu K, Hozumi Y: Health-related quality of life and psychological distress in Japanese patients with breast cancer treated with tamoxifen, exemestane or anastrozole for adjuvant therapy: a phase III randomized study of National Surgical Adjuvant Study of Breast Cancer (N-SAS BC) 04. 30th San Antonio Breast Cancer Symposium. San Antonio, U.S.A. 2007. 12.
- 22) Saito S, Shimozuma K, Ohashi Y, Fukuda T, Fukui N, Mouri M, Kuroi K: Basic attitude to use of generic anti-cancer drugs for breast cancer treatment in Japan. ISPOR 10th Annual European Congress. Dublin, Ireland. 2007. 10.
- 23) Shimozuma K, Yamaguchi T, Fujita K, Yuzawa M, Suzukamo Y, Takahashi N, Takahashi K, Morita S, Fukuhara S: Response shift in a randomized controlled trial of low vision care for patients with age-related maculopathy. 14th Annual Conference of the International Quality of Life Research. Toronto, Ontario, Canada. 2007. 10.
- 24) Kuroi K, Shimozuma K, Ohashi Y, Takeuchi A, Aranishishi T, Morita S, Ohsumi S, Makino H, Watanabe T, Hausheer FH: Prospective assessment of chemotherapy-induced neurotoxicity in breast cancer (HOR 02) and questionnaire survey of physician 's perspectives. 2007 ASCO Annual Meeting, Chicago. 2007. 6.
- 25) Makino H, Shimozuma K, Watanabe T, Ohashi Y, Katsumata N, Sonoo H, Takashima S, N-SAS BC: Comparison of quality of life (QOL) between adjuvant cyclophosphamide, methotrexate, and fluorouracil (CMF) and oral uracil/tegafur in high-risk, node-negative breast cancer - A phase III randomized trial (N-SAS BC 01). 2007 St. Gallen Breast Cancer Conference, St. Gallen. 2007. 3.
- 26) 白岩健、福田敬、下妻晃二郎、大橋靖雄、津谷喜一郎：結腸癌術後補助療法におけるカペシタビン (Xeloda®) の薬剤経済的分析。第 45 回日本癌治療学会。京都。2007. 10.
- 27) 斎藤信也、下妻晃二郎、福田敬、福井直人、毛利光子、大橋靖雄：乳がん領域におけるジェネリック薬品使用の現状。第 45 回日本癌治療学会総会。京都。2007. 10.
- 28) 大住省三、下妻晃二郎、森田智視、高嶋成光、青儀健二郎、平成人：術後長期健存乳癌患者での QOL の予測因子の検討：特に術式との関連について。第 15 回日本乳癌学会総会。横浜。2007. 6.
- 29) 広中秀一、他：切除不能・再発胃がんに対する S-1+CDDP 療法の治療成績。第 45 回癌治療学会総会。
- 30) Ohashi W, Mizushima H, Tanaka H: Proposal of Efficient Clinical Trials by using the Genomic Information. Australia. MEDINFO. 2007. 8.

31) Mizushima H, Ariei S, Sugihara K, Miki Y, Inazawa J, Tanaka H: TMDU Clinical Omics Database System-Integrating OMICS data and Clinical Information. The 7th International Workshop on Advanced Genomics. 2007.11.

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

## Ⅱ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
濃沼信夫	大腸癌治療の費用効果 大腸癌診療で知っておきたい医療経済	武藤徹一郎	大腸疾患NOW2009	日本メディカルセンター	東京	2010	81-87
濃沼信夫	がんの医療経済		新しい診断と治療のABC「胃癌(改訂2版)」	最新医学社	大阪	2010	236-244
杉原健一	インフォームドコンセントのための図説シリーズ 抗悪性腫瘍薬 大腸癌	杉原健一	インフォームドコンセントのための図説シリーズ 抗悪性腫瘍薬 大腸癌	医薬ジャーナル社	大阪	2009	総ページ数: 107
杉原健一	ガイドラインサポートハンドブック 大腸癌	杉原健一	ガイドラインサポートハンドブック 大腸癌	医薬ジャーナル社	大阪	2010	総ページ数: 246
岩瀬拓土	V乳腺の手術 乳房切除術 (Bt+SNB)		手術	金原出版	東京	2009	875-880
森園英智、 岩瀬拓土	非浸潤性乳癌の治療 非浸潤性乳癌の特性と局所療法	戸井雅和	みんなに役立つ乳癌の基礎と臨床	医薬ジャーナル社	大阪	2009	479-489
滝沢 憲	卵巣がんの抗がん剤以外の治療を望む方へ受け皿となる免疫細胞治療	武藤徹一郎	免疫細胞治療	幻冬社	東京	2009	190-199
江崎泰斗	高齢者の乳癌薬物療法	田村和夫 他	老年腫瘍学	文光堂	東京	2008	196-202
鈴木 亘	医療保険制度への積立方式導入と不確実性を考慮した評価	貝塚啓明 財務省財務総合政策研究所	人口減少社会の社会保障制度改革の研究	中央経済社	東京	2008	269-398
鈴木 亘	だまされないた	鈴木 亘	だまされ	東洋経	東京	2009	1-296

	めの年金・医療・ 介護入門		ないため の年金・医 療・介護入 門	済新報 社			
齋藤信也 下妻晃二郎	第5章 疫学・予防 日本と世界の乳癌罹患 率・死亡率の動向	齋藤信也 下妻晃二郎	これからの 乳癌検診 2008-2009	金原出版	東京	2008	108-114
下妻晃二郎	第一章 基本的診察、 13) QOL 評価	名郷直樹	診察・検査 ーみてわか る臨床カア ップシリー ズ	羊土社	東京	2007	86-89
村上昌雄、 菱川良夫	粒子線治療	渋谷均、 晴山雅人、 平岡真寛	エビデンス 放射線治療	中外医学 社	東京	2007	50-52
村上昌雄、 菱川良夫	前立腺癌、IMRT、粒 子線治療	渋谷均、 晴山雅人、 平岡真寛	エビデンス 放射線治療	中外医学 社	東京	2007	375-377
菱川良夫	脳外科領域の粒子 線治療	黒岩敏彦	脳腫瘍の外 科	メディカ 出版	大阪	2007	66-69

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
濃沼信夫	介護予防の評価. 医療 経済学・政策学の視点か ら	公衆衛生	73(4)	286-289	2009
濃沼信夫	がん検診の現状と問題 点	日本医師会雑誌	138 特別 号(1)	s43-s46	2009
濃沼信夫	胃癌撲滅戦略による経 済効果	Helicobacter Research	13(5)	380-384	2009
濃沼信夫	分子標的薬の医療経済	日癌治	44(2)	232	2009
濃沼信夫	胃癌の医療経済	The Forefront	5(2)	33-36	2009
Okamoto N, Miyagi Y, Chiba A, Akaike M, Shiozawa M, Imaizumi A, Yamamoto H, Ando T, Ymakado M, Tochikubo O	Diagnostic modeling with differences in plasma amino acid profiles between non-cachectic colorectal/breast cancer patients and healthy individuals	Int. J. Medicine and Medical Sciences	1	1-8	2009
Numasaki R, Miyagi E, Konnai K, Ikrda H, Yamamoto A, Onose R, Kato H,	Analysis of stage IVB endomeyrial carcinoma patients with distant metastasis; a review of prognoses in 55 patients	Int J Clin Oncol	14	344-350	2009

Okamoto N, Hirahara F, Nakayama H					
Sakuma Y, Okamoto N, Saito H, Yamada K, Yokose T, Kiyoshima M, Asato Y, Amemiya R, et al	A logistic regression predictive model and the outcome of patients with resected lung adenocarcinoma of 2cm or less in size	Lung Cancer	65(1)	85-90	2009
Miyakawa K, Tarao K, Ohshige K, Morinaga S, Ohkawa S, Okamoto N, Shibuya A, Adachi S, Miura Y, Fujiyama S, Miyase S, Tomita K	High serum alanine amino-transferase levels for the first three successive years can predict very high incidence of hepatocellular carcinoma in patients with Child Stage A HCV-associated liver cirrhosis.	Scandinavian J Gastroenterology	44	1340-1348	2009
Shibata Y, Ariyama H, Baba E, Takii Y, Esaki T, Mitsugi K, et al	Oxaliplatin-Induced allergic reaction in patients with colorectal cancer in Japan	Int J Clin Oncol	14	397-401	2009
江崎泰斗、 高山良子、 樋口由起子、 大島 彰	がん専門病院(がん診療連携拠点病院)緩和ケアチームの現状と地域連携	癌の臨床	55(6)	433-439	2009
Baba E, Fujishima H, Kusaba H, Esaki T, Ariyama H, Kato K, et al	Phase I Study of Sequential Administration of S-1 and Cisplatin for Metastatic Gastric Cancer	ANTICANCER RESEARCH	29	1727-1732	2009
江崎泰斗、 在田修二、 藤本千夏	エビデンスに基づく補助療法 - 術後補助化学療法	臨床と研究	86	44-46	2009
政 幸一郎、 藤本千夏、 有山寛、 江崎泰斗、	Methotrexate/5-Fluorouracil交代療法中にゾレドロン酸で著明な低カルシウム血症を起	癌と化学療法	36	489-492	2009

村川昌弘、 庄司哲也、 馬場英司、 平沼成一	こした胃癌骨髄癌腫症 の1例				
Seki N, Eguchi K, Kaneko M, Ohmatsu H, Kakinuma R, Matsui E, Kusumoto M, et al	The adenocarcinoma- specific stage shift in the Anti-lung Cancer Association project; Significance of repeated screening for lung cancer for more than 5 years with low-dose helical computed tomography in a high-risk cohort	Lung cancer	67		2010
金子昌弘	肺がん死亡減少に気管 支鏡の果たす役割は	呼吸と循環	57(11)	1097	2009
金子昌弘	がん検診の役割と意義	治療	91(10)	2362- 2367	2009
松井英介、 金子昌弘、 他	低線量CTによる肺がん 検診の有効性「東京から 肺がんをなくす会」の成 績から	CT検診	16(2)	128-134	2009
古田 希、 佐々木 裕、 小出晴久、 三木 淳、 木村高弘、 颯川 晋	腹腔鏡下副腎摘除術と 開放性手術の手術成績 についての比較検討	臨床泌尿器科	63(2)	157-163	2009
古田 希、 小出晴久、 佐々木 裕、 三木 淳、 木村高弘、 颯川 晋	副腎褐色細胞腫に対す る腹腔鏡下副腎摘除術 の検討	泌尿紀要	55(2)	245-8	2009
Kuruma H, Kamata Y, Takahashi H, Igarashi K, Kimura T, Miki K, Miki J, Sasaki H, Hayashi N, Egawa S	Staphylococcal Nuclease Domain-Containing Protein 1 as a Potential Tissue Marker for Prostate Cancer	American Journal of Pathology	174(6)	in press	2009
車 英俊、 鎌田裕子、 鷹橋浩幸、 五十嵐浩二、	新規前立腺癌マーカー SND1 の抗体は、免疫染 色において臨床的意義 のある癌を染め分ける	泌尿器外科	22(8)	947-950	2009

木村高弘、 下村達也、 三木健太、 三木 淳、 佐々木 裕、 林 典宏、 顛川 晋	ことができるか				
Shimomura T, Ohtsuka N, Yamada H, Miki J, Hayashi N, Kimura T, Kuruma H, Egawa S	Patterns of failure and infruence of potential prognostic factors after surgery in transitional cell carcinoma of the upper urinary tract	Int J Clin Oncology	14(3)	213-218	2009
下村達也、 佐々木 裕、 三木 淳、 山田裕紀、 木村高弘、 古田 希、 顛川 晋	腹腔鏡下根治的膀胱全 除術の初期経験	Jpn J Endourology ESWL	22(1)	71-76	2009
佐々木 裕、 顛川 晋	腹腔鏡下神経温存前立 腺全摘除術－ Intrafascial nerve- sparing－	Jpn J Endourol ESWL	22(2)	179-183	2009
小池祐介、 顛川 晋	がん update 前立腺が ん	日本医師会雑誌	138 (特別号1)	S243- S244	2009
木村高弘、 清田 浩、 三木 淳、 鎌田裕子、 下村達也、 車 英俊、 佐々木 裕、 中田大介、 正木恒男、 日下雅美、 顛川 晋	日本人ホルモン抵抗性 前立腺癌患者皮膚転移 より樹立した新規前立 腺癌細胞株	日本泌尿器科学会雑 誌	100(2)	124-146	2009
三木 淳、 佐々木 裕、 木村高弘、 稲葉裕之、 山口泰広、 島 憲一、 三木健太、 顛川 晋	当施設における前立腺 癌リスク分類の動向	日本泌尿器科学会雑 誌	100(2)	194-216	2009

佐々木 裕、 三木 淳、 木村高弘、 畠 憲一、 三木健太、 颯川 晋	腹腔鏡下前立腺全摘除術における早期尿禁制回復の検討	日本泌尿器科学会雑誌	100(2)	135-157	2009
山本順啓、 畠 憲一、 山口泰広、 木戸雅人、 中野雅貴、 鷹橋浩幸、 佐々木 裕、 三木 淳、 木村高弘、 古田 昭、 三木健太、 古田 希、 颯川 晋	生検にて1針のみより癌を認めた症例における全摘標本の病理学的検討	日本泌尿器科学会雑誌	100(2)	187-209	2009
鎌田裕子、 車 英俊、 鷹橋浩幸、 木村高弘、 下村達也、 佐々木 裕、 松本和将、 西森孝典、 朝長 毅、 野村丈夫、 山田順子、 颯川 晋	Periplakin Envoplakinの上部尿路癌、尿細胞診における発現の検討	日本泌尿器科学会雑誌	100(2)	116-138	2009
木戸雅人、 三木健太、 青木 学、 颯川 晋	I-125 密封小線源永久挿入治療 202 例の成績	日本泌尿器科学会雑誌	100(2)	242-264	2009
石井 元、 佐々木 裕、 三木 淳、 坂東重浩、 畠 憲一、 木村高弘、 三木健太、 颯川 晋	ハイリスク前立腺癌に対する前立腺摘除術における病理組織学的検討	日本泌尿器科学会雑誌	100(2)	391-413	2009
都筑俊介、 三木 淳、 佐々木 裕、 下村達也、 古田 希、 池本 庸、	膀胱癌に対する根治的膀胱全摘術における臨床的検討	日本泌尿器科学会雑誌	100(2)	298-320	2009

穎川 晋					
Yamada H, Penney KL, Egawa S, et al	Replication of prostate cancer risk loci in Japanese case-control association study	J Natl Cancer Inst	101(19)	1330- 1336	2009
Kimura T, Kiyota H, Nakata D, Masaki T, Kusaka M, Egawa S	A novel androgen- dependent prostate cancer xenograft model derived from skin memetastasis of a Japanes patient	Prostate	69(15)	1660- 1667	2009
Ito K, Arai M, Imazeki F, Yonemitsu Y, Bekku D, Kanda T, Yokosuka O, et al	Risk of Hepatocellular Carcinoma in Patients with Chronic Hepatitis B Virus Infection	Scandinavian Journal of Gastro- enterology	45	243-249	2009
Nakamoto S, Imazeki F, Fukai K, Fujiwara K, Arai M, Kanda T, Yonemitsu Y, Yokosuka O	Association between mutations in the core region of hepatitis C virus genotype 1 and hepatocellular carcinoma development	J Hepatol	52	72-78	2009
Maruyama H, Takahashi M, Ishibashi H, Okabe S, Yoshikawa M, Yokosuka O	Changes in tumor vascularity precede microbubble contrast accumulation deficit in the process of dedifferentiation of hepatocellular carcinoma	Eur J Radiol		in press	2009
Ohno I, Eibl G, Odinokova I, Edderkaoui M, Damoiseaux RD, Yazbec M, Abrol R, Goddard WA 3rd, Yokosuka O, Pandol SJ, Gukovskaya AS	Rottlerin stimulates apoptosis in pancreatic cancer cells through interactions with proteins of the Bcl-2 family	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol	298(1)	G63-73	2009
Fujimoto T, Tomizawa M,	SiRNA of frizzled-9 suppresses	Int J Oncol	35(4)	861-6	2009

<u>Yokosuka O</u>	proliferation and motility of hepatoma cells				
Yan J, Yamaguchi T, Odaka T, Suzuki T, Ohyama N, Hara T, Sudo K, Nakamura K, Denda T, Takiguchi N, <u>Yokosuka O</u> , Nomura F	Stool antigen test is a reliable method to detect Helicobacter pylori in the gastric remnant after distal gastrectomy for gastric cancer	J Clin Gastroenterol	44(1)	73-4	2010
Nakamoto S, Sakai Y, Kasanuki J, Kondo F, Ooka Y, Kato K, Arai M, Suzuki T, Matsumura T, Bekku D, Ito K, Tanaka T, <u>Yokosuka O</u>	Indications for the use of endoscopic mucosal resection for early gastric cancer in Japan: a comparative study with endoscopic submucosal dissection	Endoscopy	41(9)	746-50	2009
Tsuyuguchi T, Sakai Y, Sugiyama H, Miyakawa K, Ishihara T, Ohtsuka M, Miyazaki M, <u>Yokosuka O</u>	Endoscopic diagnosis of intraductal papillary mucinous neoplasm of the bile duct	J Hepatobiliary Pancreat Surg		in press	2009
Chiba T, Kamiya A, <u>Yokosuka O</u> , Iwama A	Cancer stem cells in hepatocellular carcinoma: Recent progress and perspective	Cancer Lett	286(2)	145-53	2009
Yonemitsu Y, Imazeki F, Chiba T, Fukai K, Nagai Y, Miyagi S, Arai M, Aoki R,	Distinct expression of polycomb group proteins EZH2 and BMI1 in hepatocellular carcinoma	Hum Pathol.	40(9)	1304-11	2009

Miyazaki M, Nakatani Y, Iwama A, Yokosuka O					
安野正道、 杉原健一	骨盤内臓全摘術	手術	63(2)	141-147	2009
小林宏寿、 榎本雅之、 樋口哲郎、 安野正道、 植竹宏之、 飯田 聡、 石川敏昭、 石黒めぐみ、 杉原健一	下部直腸癌：大腸癌治療 ガイドラインの解説	外科	71(2)	115-119	2009
石黒めぐみ、 杉原健一	大腸癌 5年生存率7割 の“治りやすい癌”	Medical ASAHI	4	28-30	2009
樋口哲郎、 杉原健一	下部消化管癌 消化器癌：診断・治療の すべて	消化器外科	32(5)	546-551	2009
青柳治彦、 樋口哲郎、 杉原健一	結腸がん	消化器外科ナーシン グ	春季増 刊	85-94	2009
樋口哲郎、 小林宏寿、 石黒めぐみ、 杉原健一	直腸癌	消化器外科	32(6)	1067- 1075	2009
石川敏昭、 植竹宏之、 杉原健一	アジュバント／ネオア ジュバント化学療法の 進歩と未来	モダンフィジシャン	29	954-958	2009
小林宏寿、 榎本雅之、 樋口哲郎、 安野正道、 植竹宏之、 飯田聡、 石川敏昭、 石黒めぐみ、 杉原健一 他	低位前方切除術	消化器外科	32(8)	1307- 1312	2009
植竹宏之、 石川敏昭、 杉原健一	大腸がん術後補助療法 における欧米と日本の 相違点	臨床腫瘍プラクティ ス	5(3)	305-307	2009
小林宏寿、 杉原健一	大腸癌取扱い規約と大 腸癌治療ガイドライン	医学のあゆみ	230(10)	959-964	2009
植竹宏之、 石川敏昭、 杉原健一	大腸がん化学療法にお けるベバシズマブの位 置付けとその効果	Mebio	26(10)	66-71	2009
石黒めぐみ、	大腸がんの術後補助化	Mebio	26(10)	116-123	2009

石川敏昭、 植竹宏之、 杉原健一	学療法、今後の展望				
石黒めぐみ、 小林宏寿、 杉原健一	術後サーベイランスは 予後の改善に寄与する か	外科治療	101(4)	479-485	2009
小林宏寿、 杉原健一	大腸癌取扱規約と大腸 癌治療ガイドライン	医学のあゆみ	230(10)	959-964	2009
小林宏寿、 榎本雅之、 樋口哲郎、 安野正道、 植竹宏之、 飯田聡、 石川敏昭、 石黒めぐみ、 杉原健一	低位前方切除術の器械 による結腸一直腸吻合	臨床外科	64(11)	252-255	2009
植竹宏之、 杉原健一	病期（ステージ）と大 腸癌術後補助化学療法 の適応	Pharma Medica	27(11)	11-18	2009
安野正道、 杉原健一	大腸癌肝転移に対する 集学的治療戦略におけ る肝切除前・切除後の 化学療法について	INTESTINE	13(6)	635-644	2009
杉原健一	VEGF 抗体ベバシズマブ	bios	14-IV	7-8	2009
石黒めぐみ、 安野正道、 榎本雅之、 樋口哲郎、 小林宏寿、 杉原健一	肛門温存の適応—適応 を絞る立場から	臨床消化器内科	25(1)	49-54	2009
石黒めぐみ、 杉原健一	レジデントノート 大腸癌に罹ったあと、ま たがんになる可能性は ありますか？	大腸癌FRONTIER	2(4)	88-90	2009
斎藤祐輔、 岩下明德、 工藤進英、 小林広幸、 清水誠治、 杉原健一、 武藤徹一郎、 他	大腸癌研究会「微笑大 腸病変の取扱」プロジ ェクト研究班結果報告	胃と腸	44(6)	1047- 1051	2009
岡志郎、 田中信治、 金尾浩幸、 五十嵐正広、 小林清典、 斎藤豊、	大腸 SM 癌内視鏡治療の 中期予後	胃と腸	44(8)	1286- 1294	2009

杉原健一、 武藤徹一郎、 他					
小林宏寿、 榎本雅之、 樋口哲郎、 安野正道、 植竹宏之、 飯田聡、 石川敏昭、 石黒めぐみ、 杉原健一	広範な腹壁膿瘍を呈した盲腸癌の1例	日本消化器外科学会雑誌	42(10)	1603-1608	2009
小林宏寿、 杉原健一	側方リンパ節転移例の検討からみた側方郭清の適応：大腸癌研究会・プロジェクト研究結果より	大腸癌FRONTIER	2(3)	213-216	2009
河合宏美、 植竹宏之、 小林宏寿、 榎本雅之、 樋口哲郎、 安野正道、 飯田聡、 石川敏昭、 杉原健一	直腸癌術後肺再発に対し Cetuximab が著効した1例	癌と化学療法	36(12)	2152-2154	2009
樋口哲郎、 石川敏昭、 塚本俊輔、 藤森喜毅、 小田剛史、 岡崎 聡、 石黒めぐみ、 杉原健一、 他	多発肝転移による高度肝機能障害を合併した進行直腸癌の1例	癌と化学療法	36(12)	2181-2186	2009
Fujimori T, Fujii S, Saito N, Sugihara K	Pathologic diagnosis of early colorectal cancer and its clinical implication	Digestion	79(suppl .1)	40-51	2009
Kobayashi H, Sugihara K, Uetake H, Higuchi T, Yasuno Y, Enomoto M, Iida S, Lenz HJ, Danenberg K, Danenberg PV	Messenger RNA expression of COX-2 and angiogenetic factors in primary colorectal cancer and corresponding liver metastasis	Int J Oncol	34	1147-1153	2009